



はちおうじ
Focus 人 このまちで輝く「人」

八王子市遺族会会長 / 富田 喜代志さん

色あせぬ亡き父への想い

戦後70年、遺族会も結成60周年を迎える。37年間にもわたり、慰霊祭など市内外の活動に奔走し続けた富田さんを支えたのは、亡き父への想いだった。

3歳の頃、沖縄に出征し帰らぬ人となった父。「写真を見 夢に出てくる 我が子かな」。戦地から宛てられた32通の手紙には、家族の安全や子どもの成長を願う気持ちがあふれていた。顔すら覚えていない父だが、手紙の中にその優しい面影を見ることができた。

慰霊のため、45歳で初めて訪れた沖縄。遠く離れた地で戦死した父の無念を思い、涙がこみ上げた。「もうこんな犠牲を出してはいけないんだ」。心の底からそう感じた。

高齢化などにより、遺族会の会員は減少している。自身もこの夏で74歳に。「父が生きていたら、元気な姿を想像する度、まだまだ休むわけにはいかないと感じます」。平和への願いと追悼の灯を次世代に——決意を語るその眼差しは熱かった。

プロフィール

台町四丁目在住。幼少期に八王子空襲で家を焼け出され、戦後も貧しい生活を経験した。5年前、遺族会会長に就任。現在は、孫・ひ孫世代に継承すべく青年部の立ち上げに尽力している。